産業廃棄物等の処理等に関する意識調査票

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貴事業者の名称 |  | 記　入　者(部課・氏名) | TEL: |
| 所在地 |  |
| 業の許可範囲 | 　　1．収集運搬業　　　　2．中間処理業　　　　3．最終処分業（秋田県又は秋田市の産業廃棄物の業の許可範囲について、該当する全てに〇をつけてください。） |

設問1　受託している産業廃棄物の今後の再資源化の見込みについて

貴事業所で処理している産業廃棄物について、今後５年以内に、再資源化の拡大が見込まれる品目がありましたら記入してください。また、そのように考える理由について記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 産業廃棄物の種類（品目） | 再資源化の拡大が予想される理由 |
| (例)廃プラスチック | 成分ごとに選別・分別したプラスチックの需要が高まっている。 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

設問2　電子マニフェストの利用状況について

貴事業所では、「電子マニフェストシステム」を利用していますか。該当する番号を1つ選び、✔をつけてください。

（[ ] ）1．利用している

（[ ] ）2．利用を検討している

（[ ] ）3．利用しない

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 上記で「3」を回答した方にお伺いします。システムを利用しない理由について、該当する全ての項目に○をつけてください。（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| （[ ] ）A．排出量が少ない又は取引先が少ない（[ ] ）C．独自システムで管理している（[ ] ）E．システムの操作が難しくて分からない | （[ ] ）B．取引先で導入されていない（[ ] ）D．費用がかかる（[ ] ）F．現状として問題がない |
| （[ ] ）G．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  |

 |

設問3　優良認定制度の利用状況について

貴事業所では、「優良産業廃棄物処理業者認定制度」の認定を受けていますか。該当する番号を1つ選び、✔をつけてください。

（[ ] ）1．認定を受けている

（[ ] ）2．認定を受けることを検討している

（[ ] ）3．認定を受けるつもりはない

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 上記で「3」と回答した方にお伺いします。認定を受けるつもりがない理由について、該当する全ての項目に✔をつけてください。（複数回答可）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （[ ] ）A．メリットが少ない | （[ ] ）B．手続きが面倒 | （[ ] ）C．費用がかかる |
| （[ ] ）D．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  |

 |

設問4　現在の施設の運営・操業上の課題等について

貴事業所における施設の運営・操業について、現在なんらかの課題や問題点はありますか。該当する番号を1つ選び、✔をつけてください。

（[ ] ）1．課題・問題点はない

（[ ] ）2．課題・問題点がある

|  |
| --- |
| 上記で「2」と回答した方にお伺いします。課題・問題点はどのようなものですか。該当する項目を選び✔をつけてください。（複数回答可）（[ ] ）A．排出事業者の産業廃棄物の分別が徹底されていない（[ ] ）B．排出事業者にマニフェストの重要性が認識されていない（[ ] ）C．処理コストに見合う適正な料金を排出事業者から徴収できない（[ ] ）D．産業廃棄物の受入量が減少している（[ ] ）E．産業廃棄物の処理について地域住民の理解が得られない（[ ] ）F．廃棄物の処理に精通した人材の育成ができていない（[ ] ）G．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　） |

設問5　災害廃棄物の受け入れについて

災害により災害廃棄物が発生した際に、貴事業所において災害廃棄物の受け入れを要請された場合に問題になると予想されることについて、該当する全ての番号に✔をつけてください。（複数選択可）

（[ ] ）1．災害廃棄物を処理するための設備を有していない

（[ ] ）2．災害廃棄物を処理するための作業員を確保できない

（[ ] ）3．災害廃棄物を処理するためのノウハウがない

（[ ] ）4．災害廃棄物を処理するための廃棄物処理法の手続が負担である

（[ ] ）5．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）

設問6　廃プラスチックの再資源化について

貴事業所では、産業廃棄物である廃プラスチック類の処理を受託していますか。該当する番号を1つ選び、✔をつけてください

（[ ] ）1．受託している

（[ ] ）2．受託していない

|  |
| --- |
| 上記で「1」と回答とした方にお伺いします。貴事業所で行っているプラスチック資源循環につながる取組について、該当する項目を選び、✔をつけてください。（複数選択可）（[ ] ）A．焼却や埋立で処理が完結しており、再資源化を目的としていない（[ ] ）B．破砕や圧縮・梱包など、再資源化を目的とした処理を実施し、処理後に他の事業者に引き渡している（[ ] ）C．自ら再商品化までの処理を実施している（[ ] ）D．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　） |

※再商品化とは、製品や製品の原材料として利用や売却ができる状態まで再生利用することです。

例：プラスチック製品の製造、ペレット等のプラスチック原料の製造、油化、ガス化、製鉄での高炉還元剤やコークス炉化学原料化など。

設問7　廃棄物の減量化、再資源化への取組について

貴事業所において、廃棄物の減量化や再資源化をさらに進めるため、事業化に向けて関心を持っている品目がありますか。次の1から8の品目のうち該当するものを3つまで選び、✔をつけてください。また、「✔」をつけた方は具体的にどのような取組を検討しているのかＡからＤの中から該当するものを全て選択してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　　　　　　　　品　目 | 事業化に向けて関心を持っているもの（3つまで✔をつけてください） | 検討している取組（複数回答可） |
| 1．プラスチック（ペットボトルを除く） | [ ]  |  |
| 2．ペットボトル | [ ]  |  |
| 3．廃油 | [ ]  |  |
| 4．食品廃棄物 | [ ]  |  |
| 5．リチウムイオンバッテリー（LiB） | [ ]  |  |
| 6．太陽光パネル | [ ]  |  |
| 7．風力発電等の設備 | [ ]  |  |
| 8．海洋ごみ | [ ]  |  |

|  |
| --- |
| 検討している取組（複数回答可）A．再資源化B．資源の回収、保管C．再生事業者に引き渡すまでの前処理D．その他（回答欄に具体的に記載） |

設問8　循環経済（サーキュラーエコノミー）について

8-1 令和6年8月に策定された国の第5次循環型社会形成推進計画では「循環経済（サーキュラーエコノミー）」という考え方が示されましたが、この考え方について、該当する番号を1つ選び、✔をつけてください。

（[ ] ）1．この調査で初めて知った（これまで聞いたことがなかった）

（[ ] ）2．この調査の前に見聞きしたことがあった

8-2 「循環経済」の考え方は、「循環型社会」の実現に向けたこれまでの考え方とどのような違いがあるかイメージがつきますか。該当する番号を1つ選び、✔をつけてください。

（[ ] ）1．イメージがつく

（[ ] ）2．イメージがつかない

※循環経済（サーキュラーエコノミー）とは、従来の３Ｒの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を目指すものです。（環境省ＨＰより）

設問9　県への要望について

廃棄物の減量化、再資源化、適正処理を進めるため、県ではどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。次のうち該当する番号を3つまで選び、✔をつけてください。

（[ ] ）1．排出者への定期的な監視・指導の一層の強化

（[ ] ）2．不適正処理、不法投棄に対する監視・指導の一層の強化

（[ ] ）3．処理業者に関する評価や行政処分等の情報公開

（[ ] ）4．県や市が関与する公共の廃棄物処理施設の整備促進

（[ ] ）5．排出者に対する廃棄物の排出抑制・減量化を促す取組の強化

（[ ] ）6．環境負荷の少ない製品、リサイクル認定製品の利用等に対する支援

（[ ] ）7．市町村のごみ処理広域化・集約化の取組に対する支援の強化

（[ ] ）8．官民連携による廃棄物リサイクルの取組に対する支援の強化

（[ ] ）9．廃棄物の減量やリサイクルの技術開発・施設整備への補助・融資制度の拡充

（[ ] ）10．排出事業者に対する適正処理・リサイクルに関する講習会や研修会の拡充

（[ ] ）11．産業廃棄物についての県民の知識や理解を深めるための啓発活動

（[ ] ）12．優良な廃棄物処理業者への支援と育成

（[ ] ）13．その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

設問10　温室効果ガスの削減につながる取組について

貴事業所において、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの削減につながる取組を行っていますか。該当する番号を1つ選び、✔をつけてください。

（[ ] ）1．行っている

（[ ] ）2．行っていないが、今後行う予定である

（[ ] ）3．行っておらず、今後も行う予定はない

|  |  |
| --- | --- |
| 上記で「1」又は「2」を選択した方にお伺いします。取り組んでいる（予定している）内容を記入してください。

|  |
| --- |
| （例）高効率の最新設備を導入。廃棄物由来バイオガスからの熱回収装置の設置を検討している。等 |

 |

以上で、アンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。